



# 館 報

No.19



令和6年度

埼玉県立さきたま史跡の博物館

## 目 次

1	設置の目的	1
2	沿革	1
3	埼玉県立史跡の博物館の使命	3
4	事業	4
5	組織	5
6	特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員	5
7	予算	6
8	施設・設備の概要	10
9	さきたま風土記の丘～さきたま古墳公園の変遷～	13
10	令和5年度事業報告	14
11	令和6年度事業計画	22
12	入館者数等	28
13	展示解説・ボランティア活動等	31
14	関係刊行物	32
15	企画展等	35
16	利用案内	35



特別史跡埼玉古墳群 令和5年12月撮影

## 1 設置の目的

県名発祥の地「埼玉」は、延喜式内社前玉神社、石田三成による忍城水攻めの遺構である石田堤、忍藩主松平家の菩提寺天祥寺など、豊かな歴史遺産に恵まれている。古くから埼玉の地の象徴とされてきた埼玉古墳群は、5世紀後半から7世紀前半にかけて築造された大型前方後円墳が集中する日本有数の大古墳群である。昭和13年には国史跡に指定され、平成元年・同25年・同30年の追加指定を経て、令和2年には特別史跡に指定された(指定面積約27.7ha)。

昭和42年には、古墳群を中心とした広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設した。その建設計画の一環として古墳群等から出土した考古資料や郷土の民俗資料を保護・活用するため「さきたま資料館」を昭和44年に設置した。

平成16年度に県教育委員会では、県立博物館施設の再編整備計画を策定し、8つの博物館施設を専門分野別に4つのグループに再構築することとした。当館は、歴史資料館(現・嵐山史跡の博物館)とともに「史跡系博物館」グループと位置付けられた。古墳を中心とする史跡に関する資料と考古資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図るための博物館と明確にされた。民俗資料の博物館(現・歴史と民俗の博物館)への移動作業や館内展示改装工事を行い、平成18年4月1日から「さきたま史跡の博物館」としてリニューアルオープンした。

## 2 沿革

- 昭和 41 年5月 用地買収開始
- 昭和 42 年4月 さきたま風土記の丘建設事業開始(昭和42~43年度継続事業)
  - 11月 二子山古墳周堀発掘調査
- 昭和 43 年8月 稲荷山古墳発掘調査
  - 11月 二子山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 44 年3月 さきたま資料館落成
  - 10月 さきたま資料館開館
- 昭和 45 年3月 奥の山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 48 年3月 民俗資料収蔵庫・ホール兼講堂落成
- 昭和 50 年2月 丸墓山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 51 年3月 稲荷山古墳出土品一括県文化財に指定
  - 4月 さきたま古墳公園第1期供用開始(県道南側 93,000 m<sup>2</sup>)
  - 8月 博物館法による博物館登録(8月2日)
  - 11月 稲荷山古墳内堀復原整備事業終了
- 昭和 52 年9月 礼宮文仁親王殿下、紀宮清子内親王殿下御来館
- 昭和 53 年5月 浩宮徳仁親王殿下御来館

- 9月 稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘発見、公表
- 昭和 55 年9月 収蔵展示棟落成
  - 11月 収蔵展示棟開館、金錯銘鉄剣一般公開
  - 12月 皇太子殿下・皇太子妃殿下下行啓
- 昭和 56 年6月 稲荷山古墳出土品一括重要文化財に指定
- 昭和 58 年4月 「北武蔵の農具」重要有形民俗文化財に指定
  - 5月 天皇陛下行幸
  - 6月 稲荷山古墳出土品一括国宝に指定
- 昭和 59 年3月 稲荷山古墳礫柳復原整備事業終了
- 昭和 60 年3月 稲荷山古墳保存整備事業終了(昭和 57～59 年度事業)
- 昭和 63 年3月 丸墓山古墳保存整備事業終了(昭和 60～63 年度事業)
  - 3月 行田市所有の古墳 6 基、県に譲与
- 平成3年9月 移築民家(山崎家)曳家整備終了
- 平成4年3月 瓦塚古墳保存整備事業終了(昭和 63 年～平成 3 年度事業)
- 平成6年3月 県内古墳詳細分布調査事業終了(平成元～5 年度事業)
- 平成9年3月 将軍山古墳保存整備事業終了(平成 3～8 年度事業)
  - 4月 将軍山古墳展示館開館
- 平成 10 年 11 月 稲荷山古墳発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業開始
- 平成 15 年9月 稲荷山古墳鉄剣発見 35 周年記念講演会
- 平成 16 年7月 入館者数累計 500 万人突破
- 平成 18 年3月 企画展示室改修工事竣工
  - 4月 行田県土整備事務所より古墳公園の委譲移管(235,000 m<sup>2</sup>)
  - 4月 さきたま史跡の博物館リニューアルオープン
- 平成 19 年2月 「日本の歴史公園 100 選」に選定
  - 3月 稲荷山古墳前方部復原整備事業終了(平成 12～18 年度事業)史跡埼玉古墳群保存整備基本計画策定体験工房完成
- 平成 20 年5月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(5.7ha)
- 平成 21 年3月 本館全体改修及び耐震補強工事竣工
  - 10月 秋篠宮殿下、同妃殿下御来館

平成 23 年7月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(55,000 m<sup>2</sup>)  
 平成 24 年5月 奥の山古墳周堀復原整備事業終了(平成 21～24 年度事業)  
     4月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(641 m<sup>2</sup>)  
 平成 26 年3月 入館者累計 600 万人突破  
 平成 29 年3月 稲荷山古墳礫槨陶板整備事業終了(平成 26～28 年度事業)  
 平成 30 年2月 将軍山古墳展示館改修工事竣工  
     4月 営繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(1,098 m<sup>2</sup>)  
 平成 31 年2月 埼玉古墳群史跡指定 80 周年・稲荷山古墳発掘調査 50 周年・鉄剣銘文発見 40 周年記念講演会  
     3月 史跡埼玉古墳群保存活用計画策定  
 令和元年 10 月 営繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(20,000 m<sup>2</sup>)  
     令和2年3月 特別史跡指定(3 月 10 日付け官報告示)  
     令和4年3月 奥の山古墳周堀整備事業終了(平成 31・令和元～3 年度事業)  
     令和4年3月 特別史跡埼玉古墳群整備基本計画策定  
     令和5年4月 営繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(24,260 m<sup>2</sup>)  
     令和6年3月 本館全体いきいき回復改修工事竣工

### 3 埼玉県立史跡の博物館の使命

県立史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国指定史跡「比企城館跡群 菅谷館跡」の保存と整備・活用を図ることにより、県民に快適な歴史空間を提供する。

また、埼玉の考古資料の収集保管・調査研究・展示公開・普及啓発等を行い、県民の多様な学習意欲に応え、心豊かな県民意識の醸成と新たな文化の創造に寄与する。

#### 【さきたま史跡の博物館】

さきたま史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」をはじめとする貴重な文化財を将来にわたって確実に保存、管理し、その活用を図る。また、埼玉の歴史を彩る数々の史跡や遺跡、また関係する資料の収集・保管・調査研究を進めることを基本的使命とする。

- (1) 埼玉古墳群の調査を進め、史跡整備を継続、推進するとともに、稲荷山古墳から出土した「金錯銘鉄剣」をはじめとする出土品を、安全に公開していく。
- (2) 9基の古墳を中心とした 42.0 万 m<sup>2</sup>の古墳公園を、来園者の方々が安心して利用いただけるよう維持・管理し、いにしへのロマンを感じてもらえる快適な史跡空間として提供していく。
- (3) 埼玉古墳群をはじめとする県内の史跡や遺跡、考古資料に関する総合的な博物館として、関係資料の収集、保管、調査、研究を進め、各市町村等と連携しながらその成果を企画展や講演会等で公開する。

- (4) 埼玉古墳群や館有資料などを、生涯学習や学校教育において広く活用する事業を積極的に展開する。
- (5) 史跡の博物館として、県内の史跡や遺跡の調査・保存・活用について、市町村等が実施する事業を支援する。

#### 4 事業

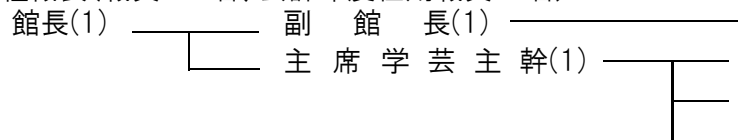
当館は、目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 埼玉古墳群を中心にその周辺から出土した考古資料の保管・展示を行う。
- (2) 考古資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行い、報告書、図録等を刊行する。
- (3) 考古資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催する。
- (4) 埼玉古墳群の調査研究及び整備を行う。
- (5) さきたま古墳公園の管理を行う。
- (6) 埼玉古墳群や館有資料を、生涯学習や学校教育に生かす学習支援活動を行う。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した(令和5年5月8日)ことを受け、マスクの着用や手指消毒、検温などの来場者への感染防止対策の呼びかけは終了とした。諸設備の消毒、施設スタッフの体調管理の徹底、三密を回避するための入場制限(学校団体の一クラスごとの展示室入室)や社会的距離を確保する(講座における座席数の削減)等の感染防止対策は引き続き行い、感染拡大防止対策を講じながら運営を行った。また、博物館本館については、9月1日(金)から3月31日(日)まで、改修工事に伴い長期の臨時休館となった。博物館本館休館中も、将軍山古墳展示館は通常どおり開館した。

## 5 組 織

(1) 組織表(職員 19 名、会計年度任用職員 3 名)



総務・公園管理担当(8)(会計年度任用職員 3 名を含む)  
 広報・学習支援担当(4)  
 資料・展示担当(4)  
 史跡整備担当(3)

(2) 職員名簿

館長	野中 仁 (兼)	(広報・学習支援担当、資料・展示担当、史跡整備担当)
副館長	柳澤 智	首席学芸主幹 佐藤 康二
(総務・公園管理担当)		(広報・学習支援担当) 担当課長 山本 麻理子
担当部長	金子 隆	担当課長 富田 和美
担当課長	関根 啓一	主事 根来 諒太
担当課長	井原 秀実 (兼)	学芸員 川又 奈津記
主任	篠崎 梨奈	(資料・展示担当) 学芸主幹 岡本 健一
主事	新井 亮平	学芸員 中井 歩
会計年度任用職員	新井 敏夫	主任専門員兼学芸員 水口 由紀子 (兼)
会計年度任用職員	青木 重二	学芸員 白石 明香
会計年度任用職員	益田 忠浩	(史跡整備担当) 学芸員 宮原 正樹 (兼)
		学芸員 青笹 基史
		学芸員 宇高 美友子

※(兼)は、嵐山史跡の博物館との兼務職員

## 6 特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員(50音順 令和6年4月現在)

石島 きく江 (行田市文化財保護審議委員)	井上 尚明 (立正大学文学部講師)
佐藤 信 (東京大学名誉教授)	高久 健二 (専修大学文学部教授)
滝沢 誠 (筑波大学人文社会系教授)	田中 裕 (茨城大学人文社会科学部教授)
森田 好一 (元秩父県土整備事務所長)	若狭 徹 (明治大学文学部教授)

## 7 予 算

### (1) 令和6年度当初予算

#### ア 運営費関係

さきたま史跡の博物館管理費 143,946 千円

さきたま古墳公園管理費 99,185 千円

#### イ 特定事業費関係

特別史跡埼玉古墳群保存活用事業(国交付決定事業費) 14,639 千円

### (2) 予算の推移

#### ア 建設費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 42～43	さきたま風土記の丘建設費(園路造成、古墳整備、資料館建設、周堀復原、民家移築等)	83,670
47	さきたま資料館増築費	50,000
54～55	さきたま資料館収蔵展示棟建設費	236,285
平成 5	さきたま資料館玄関ホール改修費	49,272
5～8	将軍山古墳展示館建設費	98,450
17	企画展示室改装工事	69,738
18	情報・体験学習室整備費	21,841
19	移築民家屋根等改修工事	15,176
20	本館全体改修及び耐震補強工事	170,207
29	将軍山古墳展示館改修工事	28,640
令和5	本館全体いきいき回復改修工事	361,458



## イ 整備費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 42～53	さきたま古墳公園整備(奥の山古墳周堀復原、丸墓山古墳周堀復原、稻荷山古墳内堀復原、公園整備)	205,178
53	稻荷山古墳出土品保存処理	3,070
54	金錯銘鉄剣恒久保存処理	3,126
54～55	資料館整備費(鉄剣等展示ケース製作及びディスプレイ)	61,289
	金錯銘鉄剣レプリカ製作	9,741
54～58	さきたま古墳公園整備	192,443
57～59	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳)	30,000
60～62	埼玉古墳群保存整備(丸墓山古墳)	30,000
昭和 63～平成 3	埼玉古墳群保存整備(瓦塚古墳)	41,104
平成 2	埼玉古墳群出土品複製(馬冑復原、水鳥埴輪レプリカ)	4,180
2～3	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳)	6,240
3	埼玉古墳群保存整備(旧山崎家曳家整備)	10,273
3～8	埼玉古墳群保存整備(将軍山古墳)	290,727
9～18	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳)	159,838
19	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳)	13,800
20	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳、範囲確認調査)	23,406
21	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳、範囲確認調査)	26,105
22	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳・鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	37,073
23	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	43,577
24	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	23,320
25	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳報告書二子山古墳整備、二子山古墳・鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	29,642
26	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫槨模型改修、二子山古墳整備、鉄砲山古墳調査、補足調査)	26,769
27	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫槨模型改修、二子山古墳・鉄砲山古墳調査、補足調査)	23,622
28	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫槨模型改修、丸墓山古墳安全対策、二子山古墳、鉄砲山古墳調査)	15,809
29	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳調査、丸墓山古墳安全対策、保存活用計画策定)	17,067

30	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳調査、丸墓山古墳安全対策、奥の山古墳調査、保存活用計画策定)	13,878
令和元	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査報告書刊行)	11,736
2	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、二子山古墳調査整理、整備基本計画策定)	10,772
3	埼玉古墳群保存整備(愛宕山古墳発掘調査、奥の山古墳整備、二子山古墳調査整理、整備基本計画策定)	12,629
4	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳報告書刊行、奥の山・丸墓山古墳整備報告書刊行、案内・解説板整備)	11,054
5	埼玉古墳群保存整備(愛宕山古墳発掘調査、鉄砲山古墳整備、案内・解説板整備)	10,167

ウ 発掘調査・報告書刊行費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 48	丸墓山古墳、稻荷山古墳周堀調査	3,163
49	天王山、梅塚古墳他周堀、二子山古墳外堀調査	3,628
54～56	稻荷山古墳発掘調査整理、報告書刊行、辛亥銘鉄剣修理報告書刊行	15,270
54～57	埼玉古墳群発掘調査	24,046
58～59	さきたま風土記の丘発掘調査	14,000
59	図録「北武蔵の農具」刊行	5,485
60～63	さきたま風土記の丘発掘調査	30,000
63	歴史の道調査	4,000
平成元～5	古墳詳細分布調査	19,199
8	将軍山古墳《史跡埼玉古墳群整備報告書》「確認調査」編・付編及び「保存・整備工事」編	3,246
18	稻荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	1,650
25	奥の山古墳整備報告書・保存整備事業報告書	1,528
29	史跡埼玉古墳群総括報告書Ⅰ	1,128
30	稻荷山古墳礫槨模型設置事業報告書	240
令和元	鉄砲山古墳発掘調査報告書	1,320
令和4	二子山古墳発掘調査報告書	1,702
令和4	丸墓山古墳・奥の山古墳整備事業報告書	231

工 管理運営費

(千円)

年度	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
予算	90,308	110,192	104,032	103,941	111,671	110,555	110,937	112,422	116,110
	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6			
	120,193	132,122	136,705	126,895	148,329	243,131			

## 8 施設・設備の概要

### (1) さきたま史跡の博物館

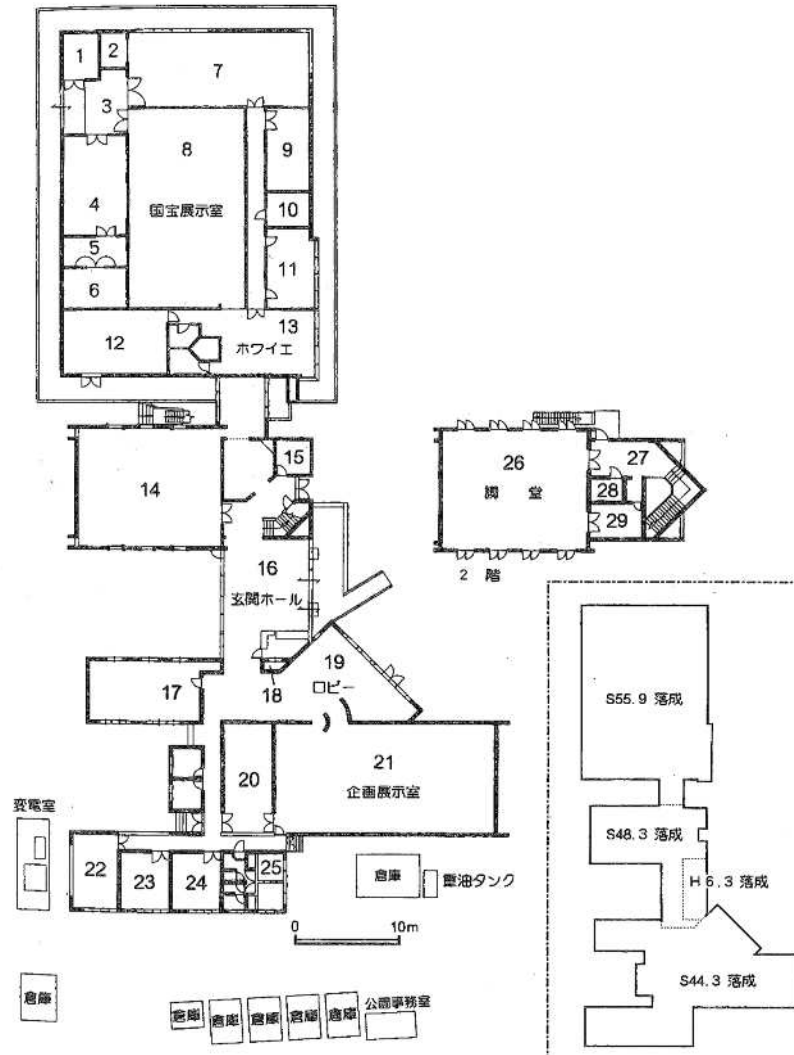
所在地 埼玉県行田市大字埼玉4834

敷地面積 42.0ha(古墳公園を含む)

建築面積 2,151.65 m<sup>2</sup>(本・新館 1,776.54 m<sup>2</sup> 移築民家 207.27 m<sup>2</sup> 機械室・車庫等 167.84 m<sup>2</sup>)

延床面積 2,386.58 m<sup>2</sup>(本・新館 2,011.47 m<sup>2</sup> 移築民家 207.27 m<sup>2</sup> 機械室・車庫等 167.84 m<sup>2</sup>)

構造 本館 鉄筋コンクリート造り 一部2階建て／移築



番号	室名	面積(m <sup>2</sup> )	番号	室名	面積(m <sup>2</sup> )
1	機械室 1	16.10	16	玄関ホール	96.02
2	倉庫 3	9.36	17	事務室	64.80
3	搬入荷解室	34.32	18	資料庫	2.88
4	考古資料収蔵庫	64.66	19	ロビー	119.60
5	前室	13.42	20	文書庫	51.84
6	特別収蔵庫	25.62	21	企画展示室	224.64
7	学芸室	124.10	22	ミーティング室	32.01
8	国宝展示室	214.50	23	図書室 1	27.36
9	図書室 2	33.16	24	館長室	23.36
10	保管庫	15.12	25	管理室	34.20
11	会議室	36.71	26	講堂	155.25
12	機械室 2	63.05	27	2階ロビー	22.02
13	ホワイエ	92.16	28	倉庫 2	7.68
	その他 (新館計)	59.79 (802.07)	29	準備室	17.82
14	さきたま体験工房	155.25		その他	162.76
15	倉庫 1	11.88		(本館計)	(1,209.40)
				合計	2,011.47

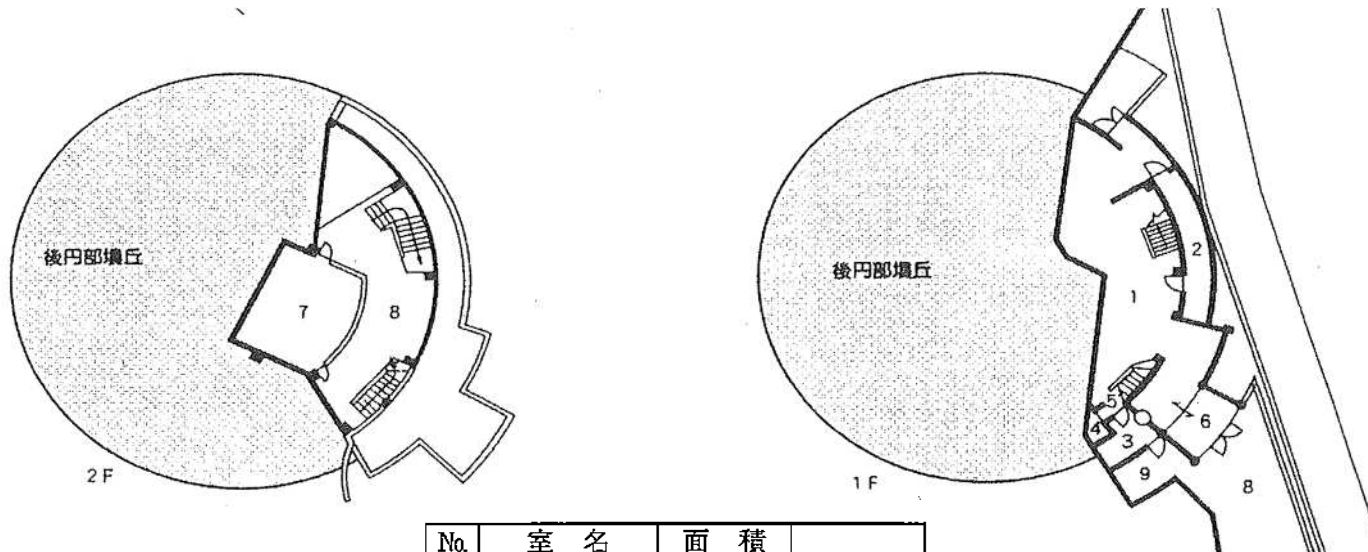
(2) 将軍山古墳展示館

所在地 埼玉県行田市大字埼玉159

建築面積 210.24 m<sup>2</sup>

延床面積 267.74 m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造り2階建て



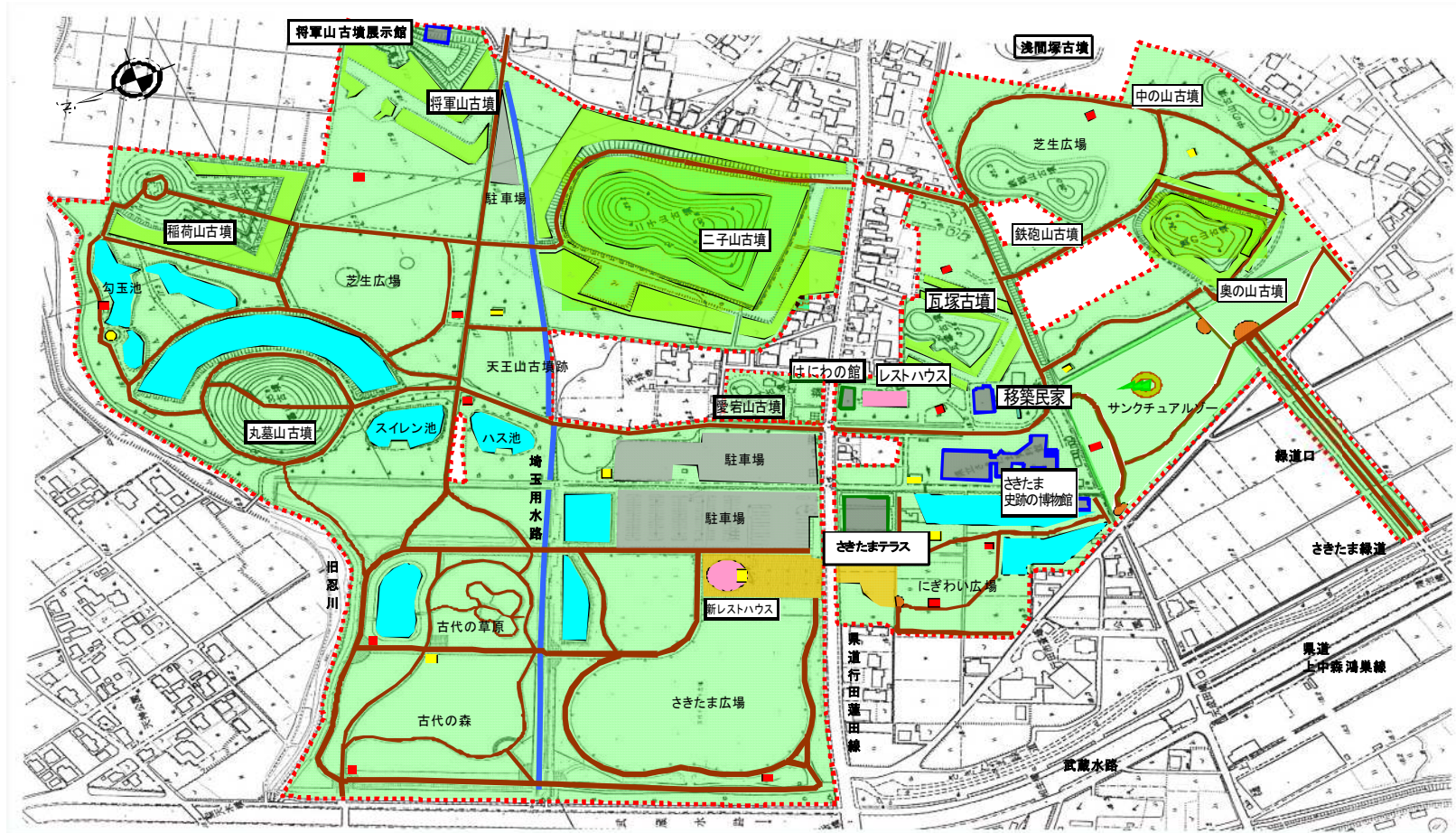
No.	室名	面積	
1	1F展示室	109.36m <sup>2</sup>	148.35m <sup>2</sup>
2	倉庫	16.88m <sup>2</sup>	
3	事務室	8.28m <sup>2</sup>	
4	トイレ	1.35m <sup>2</sup>	
5	前室	2.18m <sup>2</sup>	
6	風除室	10.30m <sup>2</sup>	
7	2F展示室	74.47m <sup>2</sup>	119.39m <sup>2</sup>
	石室展示室	44.92m <sup>2</sup>	
8	外構 ポーチ スロープ他	111.18m <sup>2</sup>	121.48m <sup>2</sup>
9	機械置場	10.30m <sup>2</sup>	
合計			389.22m <sup>2</sup>

(3) 古墳公園内の主な施設

レストハウス・・・屋根付きのオープンスペースで、6人掛けテーブルが29脚と20脚の2か所がある。

はにわの館・・・行田市の外郭団体である(一社)行田おもてなし観光局が指定管理者として運営する施設で、「はにわづくり」の体験ができる。

観光物産館さきたまテラス・・・行田市の外郭団体である(一社)行田おもてなし観光局が指定管理者として運営する施設で、地場産品、軽食、カフェの販売をしている。



博物館等施設  
 大型休憩舎(レストハウス) 2箇所  
 四阿(あずまや)等 13箇所  
 公園内トイレ 9箇所

公園区域  
 駐車場 3箇所  
 園路

R5.4.1

## 9 さきたま風土記の丘～さきたま古墳公園の変遷～

埼玉古墳群は、昭和13年8月8日に国の史跡に指定された。かつては小円墳等を含む古墳群であったが、明治から大正期の開墾によって小古墳の多くが失われ、指定範囲内には、現在8基の前方後円墳と1基の大型円墳が所在している。

昭和41年、埼玉県では、文化庁策定の「風土記の丘」建設構想に基づき、全国に先駆けて“ふるさと埼玉”のシンボルとして、埼玉古墳群を県直営の史跡公園「さきたま風土記の丘」とするため、建設計画を立て事業に着手した。さきたま風土記の丘建設計画は、用地買収・復原整備・環境整備・園路造成・資料館建設・展示資料整備を柱とするもので、県名発祥の地にふさわしい広域整備を目指したものであった。

昭和53年、稻荷山古墳から出土していた一振りの鉄剣から115文字の金錯銘文が発見され、学界のみならず国内外の注目を集めると、鉄剣を含む稲荷山古墳出土遺物は昭和58年に国宝に指定され、資料館を拡充して「国宝展示室」を新たに設置した。

その後、平成9年にはさらなる整備拡充を目指し、97ヘクタールの都市計画決定を行った。拡張区域については順次整備を進め、令和5年度末現在で、42.0ヘクタール(特別史跡指定面積は277,295.5㎡)が公園として整備され供用されている。

なお、従来は古墳部分については県教育委員会、その他の部分は県北部公園事務所(後に事務所の廃止に伴い、県行田県土整備事務所)が管理を担っていたが、平成18年度からは公園部分の維持管理が県都市整備部から県教育委員会に移管となり、古墳群を含めた公園全体の管理を当館で行っている。

整備が進められている拡張区域において、行田市による飲食物販施設の設置が計画される。これに伴い、令和4年8月1日付けで拡張区域のうち2,996.25㎡について都市整備部から移管され、供用を開始、併せて、行田市に対して使用許可を行った。

さらに、21,263.95㎡の移管を受け、令和5年4月1日に、にぎわい広場(24,000㎡)として供用を開始、行田市物販施設(さきたまテラス)も同日開業した。



にぎわい広場



行田市飲食物販施設「さきたまテラス」

## 10 令和5年度事業報告

### (1) 展示事業

※令和5年9月1日から令和6年3月31日まで、改修工事のための臨時休館により、国宝展示室及び企画展示室における展示事業は行っていない。

#### ア 常設展示

##### (a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群と周辺地域の出土品の展示のほか、埼玉県古墳文化を理解する上で必要な関係資料を展示した。



国宝展示室

##### (b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪(復原模型)を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物(復原模型)を展示して、埋葬当時の様子を再現した。



将軍山古墳展示館 石室復元展示

#### イ 企画展示

##### ① テーマ展 埼玉の遺跡 「東松山市反町遺跡—時代を彩る職人のムラ—」

期間: 2月25日(土)~5月28日(日) 53日9,417人(令和4年度分含む)

内容: 東松山市反町(そりまち)遺跡から出土した各時代の特徴ある資料を紹介しながら、当時の生活を彩る道具や装飾品の製作に携わった人々の暮らしについて考察した。



##### ② 企画展「二子山古墳と祈りの器」

期間: 7月15日(土)~8月31日(木) 43日: 10,066人

内容: 二子山古墳の墳丘造出しから出土した土器を展示し、その調査成果を紹介するとともに、古墳での祭祀行為について考察した。





(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行った。特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行った。それらの成果を紀要第17号にまとめ、刊行した。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

博物館本館施設の改修工事に伴って、国宝の安全性を確保するため令和4年度に制作した金錯銘鉄剣の保存ケースをはじめ、国宝や重要文化財等の指定資料を工事期間中に他館収蔵庫に移動し保管をした。

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集した。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、収蔵庫・展示室等の有害生物管理及び資料点検等を行った。また、下記の期間に館内で有害生物防除を行った。

実施期間:6月13日(火)～14日(水)



職員による清掃



将軍山古墳展示館2階展示の様子

利用方法	資料貸出	フィルム貸出	撮影	写真等の転載	熟覧その他	合計
件数	43	205	35	0	92	375

#### (4) 埼玉古墳群の保存活用・整備事業

##### ア 保存・整備

令和3年度以来2か年目の愛宕山古墳での発掘調査を実施し、周堀南側、墳丘平坦面及び旧地表面を確認した。

鉄砲山古墳整備事業に係る基本設計を行い、全国におけるデジタルコンテンツの整備状況の調査、周堀等の整備内容策定、概算工事費等算出を実施した。また、案内・解説板の整備事業2か年目として、史跡案内板1基(奥の山古墳西側)、誘導板1基(鉄砲山古墳北側)を製作、設置した。

埼玉古墳群の保存と整備に関して、特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会を7月18日と1月16日に開催し、委員から愛宕山古墳発掘調査や鉄砲山古墳整備事業の基本設計、案内・解説板整備について意見を聴取した。なお、分科会は7月16日、1月19日に開催し、文化庁調査官から事業内容について助言を得た。



愛宕山古墳発掘調査



史跡案内板



誘導板



保存整備協議会

##### イ 埼玉古墳群特別講演会「二子山古墳の発掘調査成果とその意義」 令和5年7月29日(土) 43人 さきたま史跡の博物館講堂

二子山古墳の報告書が刊行されたことを契機に、調査の概要とともに出土遺物のうち線刻埴輪、須恵器について最新の調査成果を発表した。なお、定員を大幅に超える105人の申込があり、参加者は抽選となった。

- |       |               |                         |
|-------|---------------|-------------------------|
| 小泉玲子氏 | (昭和女子大学教授)    | 「埴輪の線刻—二子山古墳出土例を中心に—」   |
| 藤野一之氏 | (駒澤大学・埼玉考古学会) | 「古墳時代後期における葬送儀礼と二子山古墳」  |
| 宮原正樹  | (当館学芸員)       | 「特別史跡埼玉古墳群二子山古墳の発掘調査成果」 |



会場の様子



宮原学芸員報告



小泉氏講演



藤野氏講演

ウ 特別史跡埼玉古墳群シンポジウム「6世紀の東国史と埼玉二子山古墳」令和5年11月18日(土) 314人 行田市文化センターみらい  
二子山古墳の発掘調査成果に関する発掘調査を振り返るとともに、古墳時代後期、6世紀前半という時代の日本列島の実像について、最新の研究成果から考えた。また、今城塚古墳と当該期における首長墓の盛衰を考古学的事象から読み解くとともに、文献からみた継体朝と東国との関係にも迫る内容となった。

ナワビ 矢麻氏 (埼玉県教育局文化資源課主任)  
今西 康宏氏 (高槻市立埋蔵文化財センター学芸員)  
早野 浩二氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)  
城倉 正祥氏 (早稲田大学文学学術院教授)  
河内 春人氏 (関東学院大学経済学部准教授)  
若狭 徹氏 (明治大学文学部教授)

「埼玉古墳群の中の二子山古墳—最新の調査成果から—」  
「大王墓 今城塚古墳の実像—最新の整理成果をもとに—」  
「断夫山古墳、尾張連氏とその周辺」  
「埼玉二子山古墳の墳丘とその意義」  
「6世紀前半の倭王権と東国豪族」  
「古墳からみた継体朝期の東国像」



開会あいさつ



会場の様子



文化資源課ナワビ主任報告



総合討論

(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験(親子向け)

「まが玉づくり」.....4月1日(土)~3月31日(日)【4,677人】

「火おこしに挑戦」.....4月29日(土)【119人】

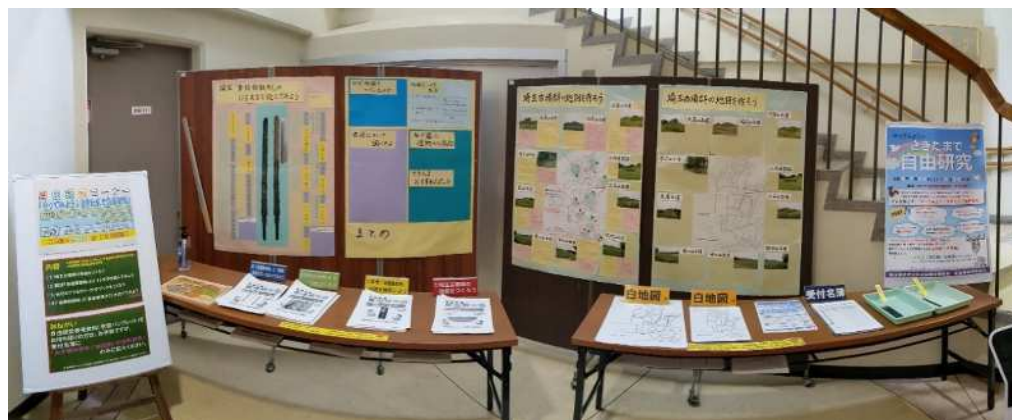
イ さきたま古代体験(子供製作体験)

「自分の好きな色にまが玉を染めよう」  
.....7月15日(土)【75人】・16日(日)【79人】

「オリジナル埴輪を作ろう！」  
.....7月22日(土)【39人】・23日(日)【34人】



ウ 自由研究コーナー「やってみよう! さきたまで自由研究」.....7月15日(土)~8月27日(日)【1,498人】※HPでのダウンロードを含む



自由研究コーナー 館内掲示



エ 古墳群ガイドツアー……………4月1日(土)【23人】※スペシャルガイドツアー  
 11月4日(土)【19人】※万葉歌碑をめぐる  
 12月16日(土)【60人】  
 1月27日(土)【110人】



オ キッズ古墳群ガイドツアー……………5月5日(金・祝)【55人】・3月3日(日)【34人】

カ 企画展解説……………7月23日(日)【8人】・8月6日(日)【16人】・8月20日(日)【17人】

キ テーマ展解説……………4月16日(日)【8人】・5月14日(日)【18人】

ク さきたま講座…………… 5月27日(土) 考古学講座「東松山市の古墳時代」 近江 哲(東松山市埋蔵文化センター)【42人】  
 8月26日(土) 企画展関連講座「埼玉古墳群の墳丘造出しに関する一考察」  
 中井 歩(当館学芸員)【41人】  
 渡邊理伊知(公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 調査部調査第一課主任)【43人】



ケ 学芸員の仕事にチャレンジ!(小・中学生対象)……………5月7日(日)【39人】・7月17日(月・祝)【32人】・1月28日(日)【38人】

コ 中高生のための博物館仕事体験(中学生・高校生対象)……………8月5日(日)【20人】



サ 史跡探訪「吉見町の史跡を巡る」……………10月21日(土)【17人】



シ 連携事業……………5月13日(土) 世界遺産関連講座「はにわの造形と技術ー古墳時代の表現技法をさぐるー」  
塚田 良道(大正大学文学部教授)【44人】

ス 県民の日記念行事……………11月14日(火) さきたま秋祭り「まが玉色染め体験」【114人】・「火おこしに挑戦!」【148人】・「古代人に変身」【58人】  
「オリエンテーリング」【84人】・「埼玉古墳群ガイドツアー」【11人】



セ 出前授業

- 「なるほど！古墳時代」〈近隣5市〉……………6月15日(木)～7月13日(木)【24校・1069人】
- 「作ってみよう！わたしだけのオリジナルまが玉」……………5月9日(火)～3月7日(木)【17校 693人】
- 「作ってみよう！わたしだけのオリジナルはにわ」……………7月27日(木)～2月1日(木)【10校 279人】
- 「古墳時代へタイムスリップ！」……………6月2日(金)・10月6日(金)・10月23日(月)・10月24日(火)・11月15日(水)【5校 257人】
- 「オンライン」……………10月25日(水)・11月1日(水)・11月7日(火)午前、午後【4校 165人】



ソ その他のアウトリーチ事業

- あおぞらまが玉教室……………11月3日(金・祝)【246人】・11月4日(土)【206人】・3月3日(日)【213人】

タ 実習・研修会・報告会・見学会

- 県政出前講座……………7月8日(土)【24人】・8月31日(木)【40人】・9月20日(水)【38人】・2月21日(水)【15人】・3月16日(土)【20人】
- 博物館実習……………7月18日(火)～21日(金)・25日(火)～27日(木)【7人】
- 行田市小・中学校初任者研修 施設体験研修……………7月28日(金)【10人】
- 埼玉県小学校中堅教諭等資質向上研修(教科指導)……………7月31日(月)【20人】
- 教員のための博物館の日……………8月2日(水)【6人】
- 講演……………「二子山古墳特別講演会」7月29日(土)【44人】・「愛宕山古墳発掘調査見学会」2月10日(土)【401人】
- 大学生社会体験活動……………6月27日(火)～29日(木)【2人】
- 中学生職場体験実習……………休館中のため実施せず
- ミュージアムフォーラム……………12月17日(日)【49人】※オンライン参加含む

## 11 令和6年度事業計画

埼玉古墳群、関連資料及び県内の考古資料の展示などを行い、利用者の郷土埼玉に対する一層の理解を深めると共に、古墳群の歴史的意義の解明と特別史跡「埼玉古墳群」の保存と活用に努める。

### (1) 展示事業

#### ア 常設展示

##### (a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群とその周辺の出土品の展示のほか、埼玉県古墳文化を理解する上で必要な収蔵品等の関係資料を展示する。(金錯銘鉄剣は展示ケース改修のため、複製品を展示する。)

##### (b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪(復原模型)を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物(復原模型)を展示して、埋葬当時の様子を再現する。

#### イ 企画展示

##### (a) スペシャルテーマ展「埼玉古墳群と日本遺産」

期間:令和6年4月2日(火)～5月26日(日)

内容:行田市の日本遺産について詳しく紹介するとともに、埼玉古墳群や忍城跡がなぜ日本遺産の構成文化財に認定されているか紹介し、これら文化の保存と活用の可能性について考察する。行田市教育委員会主催。

##### (b) 令和6年度「埼玉の考古おひろめ展ー地中からのメッセージ」

期間:令和6年7月13日(土)～9月1日(日)

内容:県内で発掘調査された遺跡の最新の成果や話題となった発掘資料を紹介する。

##### (c) 企画展「古墳時代の装い(仮)」

期間:令和6年10月5日(土)～12月1日(日)

内容:人物埴輪や、人物埴輪が身に着けている装飾品の実際の出土例を展示し、古墳時代の人々の装いについて考察する。

##### (d) ほるたま展2024(仮)

期間:令和6年12月14日(土)～令和7年2月2日(日)

内容:公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査した県内の遺跡から出土した遺物の中から優品を紹介する。



(e) テーマ展「埼玉の遺跡」(仮)

期間:令和7年2月22日(土)~3月30日(日)

内容:県内の遺跡のうち、学術的に貴重な成果があった遺跡を深掘りして紹介する。

ウ ギャラリー展示(パネル展示)

県民から募集した埼玉古墳群の懐かしい写真や埼玉古墳群の調査成果、展示に関連した内容について紹介する。

エ スペシャルスポット展示

期間:令和6年4月2日(火)~令和7年3月30日(日)予定

内容:金錯銘鉄剣の展示ケースが新たに設置されるまでの間、鉄剣の複製品を展示するとともに、鉄剣が発掘されてから現在に至るまでの主な出来事を紹介する。

## (2) 調査研究事業

ア 古代歴史文化協議会 共同研究「古墳時代の中央と地域」の推進

当館では古代歴史文化協議会(加盟県 埼玉・奈良・和歌山・岡山・鳥取・島根・佐賀・宮崎)共同研究の中で、「稻荷山古墳の再検討」に係る調査・研究を推進する。12月8日(日)に都内でシンポジウムを開催し、研究成果を発表する。また、令和7年度以降に当館の研究成果を企画展にて公開する。

イ 紀要の刊行

職員の調査・研究成果や体験学習事業等の報告を所収した埼玉県立史跡の博物館紀要第18号を刊行する。

## (3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集する。

イ 資料の保管・管理

・国宝「武蔵埼玉稻荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、収蔵庫・展示室等の有害生物生息状況調査及び有害生物防除を行う。

※6月11日(火)~12日(水)に薬剤による消毒作業を実施する。

・国宝「金錯銘鉄剣」は、展示ケース改修のため窒素ガス封入の特殊ケースにて特別収蔵庫内に保管し、定期的なモニタリングを実施する。

#### (4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

##### ア 保存・整備

愛宕山古墳の整備方針を策定する目的で発掘調査を行う。また、鉄砲山古墳整備事業の実施設計を実施する。  
史跡案内板等を製作、設置する。

##### イ 発掘調査現地説明会等

愛宕山古墳の発掘調査の様子や状況等を一般向けに広く公開するために古墳の発掘調査見学会を開催する。また発掘調査の進捗について、  
適宜ホームページ等で公開する。

##### ウ 特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会の開催

有識者からなる協議会を年2回開催し、発掘調査や古墳の整備方法等について、指導、助言を得る。

##### エ 特別史跡の保全・点検

古墳群の適切な保存管理のため、特に立入禁止区域の墳丘について定期的に巡回・点検を実施する。また、防犯カメラ等の設置について、  
関係機関と協議を継続する。

#### (5) 広報・学習支援事業

##### ア さきたま古代体験

「まが玉づくり」……………4月2日(火)～3月30日(日)  
「火おこしに挑戦！」…………… 4月29日(月・祝)  
「古代人に変身」…………… 4月27日(土)  
「学芸員の仕事にチャレンジ！」…………… 5月3日(金・祝)・9月21日(土)・1月25日(日)  
「中高生のための博物館仕事体験」……………8月3日(土)・8月4日(日)

##### イ 子供製作体験

「自分の好きな色にまが玉を染めよう」……………6月2日(日)・8月11日(日)・10月6日(日)・12月8日(日)・2月2日(日)  
「オリジナル埴輪を作ろう」…………… 7月20日(土)・21日(日)

##### ウ 古墳群ガイドツアー…

① 埼玉古墳群ガイドツアー……………7月6日(土)・1月18日(土)  
② キッズ古墳群ガイドツアー…………… 5月5日(日・祝)・3月2日(日)  
③ 古典の日記念事業「万葉歌碑を巡る」…………… 11月2日(土)

- エ テーマ展解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月2日(日)・3月16日(日)
- オ 企画展解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10月13日(日)・10月27日(日)・11月10日(日)・11月24日(日)
- カ おひろめ展解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月21日(日)・8月4日(日)・8月18日(日)・9月1日(日)
- キ 史跡探訪・・ 10月19日(土)
- ク さきたま講座  
 さきたま講座①「行田市の日本遺産—文化財を活かしたまちづくり」中島 洋一(行田市教育委員会文化財保護課主査)・・・・・・・・・・5月25日(土)  
 さきたま講座②「私の埼玉古墳群研究」杉崎 茂樹(元さきたま史跡の博物館学芸員)・・・・・・・・・・・・・・・・・・6月29日(土)  
 さきたま講座③外部講師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8月24日(土)  
 さきたま講座④篠川 賢(成城大学名誉教授)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9月14日(土)  
 さきたま講座⑤当館職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10月26日(土)  
 さきたま講座⑥外部講師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月8日(土)
- ケ 実習・研修会・報告会・見学会  
 博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月17日(水)～19日(金)、23日(火)～26日(金)  
 遺跡発掘調査報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月28日(日)  
 埼玉県小学校中堅教員等資質向上研修(社会科)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月29日(月)  
 教員のための博物館の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8月7日(水)
- コ 古墳フェスタ(仮)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10月20日(日)
- サ 出前授業  
 (a)「なるほど！古墳時代～鉄剣の謎を解明しよう～」(国宝「金錯銘鉄剣」を中心資料とした古墳時代に関する授業) 〳小学6年生対象  
 (b)「作ってみよう！わたしだけのオリジナルまが玉」(まが玉づくり体験授業) 〳小学3～6年生対象  
 (c)「作ってみよう！わたしだけのオリジナルはにわ」(埴輪づくり体験授業) 〳小学3～6年生対象  
 (d)「古墳時代へタイムスリップ」(古墳時代を中心とした歴史学習) 〳小学3～6年生対象  
 (e) オンライン「残していこう大切な文化財～埼玉古墳群～」(埼玉古墳群を中心とした小学生向け郷土学習) 〳小学4～6年生対象  
 (f)「郷土の誇り 埼玉古墳群」(埼玉古墳群を中心とした中学生向け郷土学習) 〳中学1～3年生対象  
 (g)「さきたま史跡の博物館のお仕事」(学芸員の仕事を中心としたキャリア教育学習) 〳中学1～3年生対象

シ その他のアウトリーチ事業

総合教育センター一般公開外部機関展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10月中旬

ス さきたま体験工房

(a) 「まが玉づくり(通年)」などの「体験コーナー」

図書・タブレットを使った考古学・文化財などの学習ができる「さきたま情報コーナー」などを活用した事業を実施する。

(b) 自由研究コーナー「やってみよう！さきたまで自由研究」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月20日(土)～8月25日(日)

(6) ボランティアの育成

体験学習や講座等の運営、国宝展示室の解説、環境整備などの支援能力を高めるためにボランティア研修や意見交換会を実施し、積極的なボランティアの活用を図る。

ア ボランティア委嘱状交付式及び研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4月17日(水)

イ ボランティア定例会及び研修会(年4回実施)

(7) 関係団体との連携等

ア 埼玉県博物館連絡協議会への加盟

イ 関東地区博物館協会への加盟

ウ 日本博物館協会への加盟

エ 県政出前講座

オ 全国風土記の丘協議会への加盟

カ その他関係団体・民間企業との連携

(8) 管理運営事業

ア 国宝展示ケースのリニューアル

国宝「武蔵稻荷山古墳出土品」の展示ケースの老朽化に伴い、新たな展示ケースを製作・設置する。特に「金錯銘鉄剣」展示ケースは、極めて特殊な仕様なため、文化庁・有識者の指導のもと、詳細を決定し製作する。

イ 博物館施設の充実

古墳群の環境整備、博物館の整備・充実を進め、博物館、將軍山古墳展示館及び移築民家の積極的な活用を行う。

ウ 臨時休館日 予定日程

6月11日(火)・12日(水) (殺虫消毒)

2月後半～3月後半の1～3日程度 (鉄剣ケース設置)

エ 公園施設の維持・管理

公園施設の適正な維持・管理を行うとともに、安全で安心な公園環境づくりに努め、県民に快適な歴史空間の場を提供する。

**(9) 「博学連携」を意識した学校教育との連携強化**

ア 「主体的・対話的で深い学びの実現」「体験活動」を重視した出前授業の実施

児童生徒の学習意欲を高める教材提供の工夫や、児童生徒が対話によって思考を深める問題解決場面を設定した授業を実施する。

イ 児童生徒の思考を促す博学連携教材の開発

さきたま史跡の博物館ならではの教材を開発し、授業での利用の方法とともに県内小中学校に提案する。

ウ 職場体験事業の受け入れと児童生徒作品の展示

中学校職場体験事業において、中学生の館内実習を行う。また、行田特別支援学校の児童生徒の作品を館内に一定期間展示する。

**(10) 地域教育機関・民間とのネットワークによる事業展開**

ア 地域の教育機関との連携事業

県立総合教育センターや近隣市町村の社会教育施設、地元民間団体と連携し、研修や講座などの連携事業を展開する。

イ 地域の民間団体との連携事業

10月20日(日)の古墳フェスタ(仮)を中心に、地域の民間NPO団体等と協力し、埼玉古墳群の一層のアピールを行うとともに地域との連携を強化する。

## 12 入館者数等

(1) 令和5年度の状況

### 月別入館者数一覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
開館日数		26	27	24	27	28	27	27	27	24	25	26	27	315	
本館 有料 入館 者数	個人	一般	2,649	3,941	1,837	2,851	3,336	743	1,391	1,329	692	730	918	1,105	21,522
		学生等	79	171	45	72	200	24	32	49	21	20	35	64	812
	団体	一般	45	146	418	1,369	739	104	96	57	0	0	0	66	3,040
		学生等	0	0	25	43	37	0	0	0	0	0	0	0	105
	年間券	一般	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6
		学生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		2,774	4,261	2,325	4,336	4,313	871	1,519	1,435	713	750	953	1,235	25,485	
共通券入館者		1,708	2,571	1,474	2,230	2,102	6	1	190	0	1	0	0	10,283	
無料入館者		小学生	923	2,144	3,629	3,365	1,757	441	550	625	194	277	204	338	14,447
		中学生	169	241	150	180	411	19	88	54	28	26	32	64	1,462
		その他	836	960	941	988	828	265	507	482	218	244	294	375	6,938
		小計	1,928	3,345	4,720	4,533	2,996	725	1,145	1,161	440	547	530	777	22,847
入館者総計		6,410	10,177	8,519	11,099	9,411	1,602	2,665	2,786	1,153	1,298	1,483	2,012	58,615	

### 小・中学校団体見学数地域別一覧

	地域	さいたま	南部	西部	北部	東部	県内計	東京	神奈川	千葉	静岡	栃木	茨城	群馬	県外計	合計
小学校	学校数	1	8	2	3	15	29	64	2	0	2	2	0	1	71	100
	人数	73	548	136	74	747	1,578	4,604	194	0	107	102	0	73	5,080	6,658
中学校	学校数	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	2	4
	人数	0	0	52	0	43	95	13	0	0	0	23	0	0	36	131
その他	学校数	1	0	0	1	2	4	3	0	1	0	0	0	0	4	8
	人数	31	0	0	7	42	80	68	0	13	0	0	0	0	81	161

※その他は、「高等学校」「大学」「特別支援学校」「保育園」等。 ※人数は、引率者含む。

## (2) 年度別入館者数内訳

年 度	昭和44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	
開館日数	120	295	297	296	294	292	295	294	294	296	288	284	281	291	
個 人	一般	3,660	9,759	9,220	10,862	11,771	13,418	12,254	13,196	16,152	42,657	46,589	50,916	49,050	45,052
	学生等	2,837	5,975	5,774	5,930	7,071	7,152	6,354	6,839	8,016	16,236	18,566	19,733	17,611	17,537
団 体	一般	2,499	3,881	4,610	5,466	4,440	5,830	4,755	4,905	6,088	13,644	19,944	15,556	18,348	15,191
	学生等	962	1,604	3,637	3,897	3,372	4,771	3,733	4,294	4,953	6,770	11,319	8,629	9,869	10,685
小 計	9,958	21,219	23,241	26,155	26,654	31,171	27,096	29,234	35,209	79,307	96,418	94,834	94,878	88,465	
共通券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無料入館者	8,853	21,907	27,949	38,372	45,698	56,347	54,842	57,020	74,277	99,729	107,636	89,025	110,371	112,165	
入館者総計	18,811	43,126	51,190	64,527	72,352	87,518	81,938	86,254	109,486	179,036	204,054	183,859	205,249	200,630	

年 度	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	
開館日数	292	293	294	293	295	290	291	293	293	292	291	291	294	293	
個 人	一般	45,352	41,648	42,416	45,705	44,059	42,593	45,506	46,744	46,693	45,060	41,463	35,379	33,062	33,462
	学生等	17,487	16,251	16,619	17,330	15,650	14,097	14,302	13,726	12,760	12,042	10,967	8,862	1,655	1,869
団 体	一般	15,083	12,643	11,086	10,860	11,528	13,851	9,093	9,190	7,294	8,763	5,091	3,578	3,097	2,336
	学生等	5,793	5,021	3,808	3,864	2,967	4,199	2,485	2,047	1,554	1,214	956	803	437	178
小 計	83,715	75,563	73,929	77,759	74,204	74,740	71,386	71,707	68,301	67,079	58,477	48,622	38,251	37,845	
共通券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無料入館者	126,704	122,557	105,125	106,308	99,920	87,847	94,920	93,298	97,334	90,342	86,141	87,144	102,377	114,978	
入館者総計	210,419	198,120	179,054	184,067	174,124	162,587	166,306	165,005	165,635	157,421	144,618	135,766	140,628	152,823	

年 度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
開館日数	294	293	293	296	298	298	297	298	301	312	316	313	314	311	
個人	一般	43,637	34,378	29,992	26,173	26,449	25,928	27,915	23,123	23,415	22,633	20,496	27,866	26,577	23,323
	学生等	1,842	1,558	1,314	1,199	1,292	1,083	1,169	1,007	862	1,213	991	1,004	1,005	1,008
団体	一般	2,153	2,631	2,035	2,279	2,341	1,758	1,858	1,346	1,184	1,795	1,364	1,272	1,330	2,931
	学生等	316	165	250	142	99	205	41	41	127	51	16	196	96	26
小 計	47,948	38,732	33,591	29,793	30,181	28,974	30,983	25,517	25,588	25,692	22,867	30,338	29,008	27,288	
共通券	18,671	15,134	13,594	12,085	13,081	12,698	12,236	10,993	12,060	11,774	10,204	15,670	14,253	12,256	
無料入館者	149,682	113,405	104,683	90,284	84,215	73,800	75,653	62,250	64,604	67,539	66,966	65,347	68,570	61,923	
入館者総計	216,301	167,271	151,868	132,162	127,477	115,472	118,872	98,760	102,252	105,005	100,037	111,355	111,831	101,467	

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	累 計	
開館日数	313	314	313	314	313	313	313	315	287	186	314	314	315	16,170	
個人	一般	21,247	25,161	29,544	31,837	33,129	34,170	31,139	29,942	29,523	19,917	31,847	30,989	21,528	1,675,576
	学生等	885	1,068	987	1,212	1,228	1,160	1,064	979	889	634	1,174	1,183	812	349,070
団体	一般	3,693	3,362	7,246	7,953	7,680	8,136	7,327	6,365	8,270	673	2,167	2,799	3,040	343,638
	学生等	162	107	87	81	154	74	81	93	115	8	5	78	105	116,742
小 計	25,987	29,698	37,864	41,083	42,191	43,540	39,611	37,379	38,797	21,232	35,193	35,049	25,485	2,485,026	
共通券	11,919	14,716	18,587	21,158	22,159	23,702	18,921	24,045	23,901	12,158	22,939	21,828	10,283	431,025	
無料入館者	54,037	69,276	54,554	51,476	50,937	55,128	49,081	49,019	45,104	20,292	37,961	40,383	22,847	4,068,202	
入館者総計	91,943	113,690	111,005	113,717	115,287	122,370	107,613	110,443	107,802	53,682	96,093	97,260	58,615	6,984,253	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)から令和2年5月31日(日)まで、令和2年12月24日(木)から令和3年3月21日(日)まで臨時休館



13 団体解説・ボランティア活動等(R5 年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体解説	一般	団体数	2	2	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	13
		人数	43	60	139	53	0	9	0	0	0	0	0	0	304
	学校	団体数	0	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9
		人数	0	204	165	36	11	0	0	0	0	0	0	0	416
工房利用者	工房利用者数	520	967	977	1,184	1,399	0	0	0	0	0	0	0	0	5,047
	学校	84	59	276	140	140	0	0	0	0	0	0	0	0	699
	一般	166	247	100	238	502	0	0	0	0	0	0	0	0	1,253
	合計	250	306	376	378	642	0	0	0	0	0	0	0	0	1,952
レファレンス件数		3	23	7	15	14	3	0	0	0	0	0	0	0	65
ボランティア	学習支援	43	51	56	94	68	19	32	40	1	1	5	19	429	
	展示解説	13	22	24	36	15	0	0	0	0	0	0	0	110	
	環境整備	9	17	24	18	18	16	18	9	9	10	10	9	167	
	合計	65	90	104	148	101	35	50	49	10	11	15	28	706	

## 14 関係刊行物

- 「資料館報」No.1(昭和45年)～No.36(平成17年)
- 「調査研究報告」第1号(昭和63年)～第19号(平成17年)
- 「さきたま古墳群とその周辺」 (昭和51年3月)
- 「さきたま民俗暦」 (昭和52年3月)
- 「稻荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘概報」 (昭和54年2月)
- 「八幡山古墳石室復原報告書」 (昭和55年3月)
- 「埼玉稲荷山古墳」 (昭和55年11月)
- 「埼玉稲荷山古墳辛亥銘鉄剣修理報告書」 (昭和57年3月)
- 「北武蔵の農具」 (昭和60年1月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第二集 鉄砲山古墳」 (昭和60年3月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第三集 愛宕山古墳」 (昭和60年3月)
- 「史跡埼玉古墳群保存修理事業報告書 稲荷山古墳」 (昭和60年3月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第四集 瓦塚古墳」 (昭和61年3月)
- 展示ガイド「さきたま古墳群と北武蔵の農具」 (昭和61年3月)
- 絵はがき「稲荷山古墳」 (昭和61年3月)
- 「歴史の道 調査報告書第七集 荒川の水運」 (昭和62年3月)
- 「歴史の道 調査報告書第八集 新河岸川の水運」 (昭和62年3月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第五集 二子山古墳」 (昭和62年3月)
- 「歴史の道 調査報告書第九集 入間川の水運」 (昭和63年3月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第六集 丸墓山古墳・埼玉1～7号墳・将軍山古墳」 (昭和63年3月)
- 88さいたま博覧会協賛特別展図録「はにわ人の世界」 (昭和63年3月)
- 第4回国民文化祭 さいたま89協賛特別展図録「さきたま古墳群とその時代」 (平成元年10月)
- 「歴史の道 調査報告書第十集 利根川の水運」 (平成元年3月)
- 「埼玉古墳群発掘調査報告書第七集 奥の山古墳・瓦塚古墳・中の山古墳」 (平成元年3月)

第1回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「古墳の年代をはかる 一須恵器一」	(平成2年10月)
第2回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「くらしの中の神々」	(平成3年10月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第八集 二子山古墳・瓦塚古墳」	(平成4年3月)
展示ガイド「さきたまの古墳」	(平成4年3月)
第3回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「さきたま将軍山古墳と銅鏡」	(平成4年10月)
彩の国元年 さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「キツネは踊る～お米がたくさんとれますように～」	(平成5年9月)
「埼玉県古墳詳細分布調査報告書」	(平成6年3月)
展示ガイド「さきたまの古墳と民俗」	(平成7年3月)
将軍山古墳 <<史跡埼玉古墳群整備事業報告書>> 「確認調査編・付編」及び「保存・整備工事編」	(平成9年3月)
将軍山古墳整備事業完成記念企画展図録 「古墳時代の馬の装い 一さきたまに馬がやってきた！一」	(平成9年10月)
ガイドブック「さきたま」	(平成10年3月)
稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯銘発見20周年記念事業特別展 図録「古代金石文と倭の五王の時代」	(平成10年10月)
稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯銘発見20周年記念事業特別展 シンポジウム資料「ここまでわかった！稲荷山古墳」	(平成10年11月)
特別展図録「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成19年1月)
武蔵埼玉稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	(平成19年3月)
史跡埼玉古墳群保存整備基本計画	(平成19年3月)
図録「「稲荷山」出現以前の古墳」	(平成22年3月)
図録「祈りとまじないの考古学」	(平成22年10月)
図録「スローフードの考古学 ～生活を支えた食と生業～」	(平成23年10月)
図録「原始・古代の職人集団」	(平成24年9月)
図録「古代の豪族～将軍山古墳とその時代～」	(平成25年9月)
シンポジウム資料集「埼玉古墳群の謎～東国をおさめた古代豪族～」	(平成26年1月)
「史跡埼玉古墳群奥の山古墳発掘調査・保存整備事業報告書」	(平成26年3月)
図録「ハニワの世界」	(平成26年9月)
図録「古墳の終焉と律令時代の幕開け」	(平成27年9月)

図録「埼玉の古墳1 一比企・入間」	(平成 28 年 9 月)
図録「埼玉の古墳2 一秩父・児玉・大里」	(平成 29 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 総括報告書 I」	(平成 30 年 1 月)
図録「埼玉の古墳3 一北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾」	(平成 30 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 稻荷山古墳礫槨模型設置事業報告書」	(平成 31 年 1 月)
記念講演会資料集「さきたま あれから これから」	(平成 31 年 2 月)
「史跡埼玉古墳群保存活用計画」	(平成 31 年 3 月)
図録「徹底解剖！埼玉古墳群」	(令和元年 9 月)
「特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書」	(令和 2 年 3 月)
特別史跡指定記念式典・シンポジウム資料集「埼玉古墳群 史跡から特別史跡へ」	(令和 2 年 3 月)
指定記念限定ガイドブック「特別史跡埼玉古墳群」	(令和 2 年 3 月)
図録「盾持人埴輪の世界」	(令和 2 年 9 月)
報告書刊行記念シンポジウム資料集「鉄砲山古墳を掘る」	(令和 2 年 11 月)
「特別史跡 埼玉古墳群ガイドブック」	(令和 3 年 2 月)
図録「運ぶ一埼玉古墳群とモノの動き」	(令和 3 年 7 月)
企画展関連シンポジウム資料集「埼玉古墳群とモノの動き」	(令和 3 年 9 月)
「特別史跡埼玉古墳群整備基本計画」	(令和 4 年 3 月)
図録「家形埴輪」	(令和 4 年 10 月)
「特別史跡 埼玉古墳群ガイドブック」第2版	(令和 4 年 12 月)
令和4年度シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」	(令和 5 年 3 月)
「特別史跡埼玉古墳群 二子山古墳発掘調査報告書」	(令和 5 年 3 月)
図録「二子山古墳と祈りの器」	(令和 5 年 7 月)
特別史跡埼玉古墳群シンポジウム「6世紀の東国史と埼玉二子山古墳－最新成果から描く継体朝前後の東日本－」	(令和 5 年 11 月)
「館報」No.1(平成 18 年)～No.19(令和 6 年)	
「埼玉県立史跡の博物館紀要」創刊号(平成 18 年)～第 17号(令和 5 年)	

## 15 企画展等

企画展「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成 18 年度)
最新出土品展、企画展「考古学で学ぶ動物とのかかわり」	(平成 19 年度)
最新出土品展、企画展「古墳時代の優品」	(平成 20 年度)
最新出土品展、企画展「稻荷山出現以前の古墳」	(平成 21 年度)
最新出土品展、企画展「祈りとまじないの考古学」、テーマ展「さきたまのハニワたち」	(平成 22 年度)
最新出土品展、企画展「スローフードの考古学」、テーマ展「埼玉・あの遺跡この遺跡」	(平成 23 年度)
最新出土品展、企画展「原始古代の職人集団」、テーマ展「埼玉の原始・古代」	(平成 24 年度)
最新出土品展、企画展「古代の豪族」、テーマ展「形と文様」	(平成 25 年度)
最新出土品展、企画展「ハニワの世界」、テーマ展「縄文の不思議な世界」	(平成 26 年度)
最新出土品展、企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」、新収蔵品展「～旧長瀬総合博物館からの寄贈資料～」	(平成 27 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳1ー比企・入間ー」、テーマ展「弥生の空間 ー実りと祈りー」	(平成 28 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳2ー秩父・児玉・大里ー」、テーマ展「律令国家がやってきた！」	(平成 29 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳3ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」、テーマ展「埼玉の平安ー兵の目覚めー」	(平成 30 年度)
最新出土品展、企画展「徹底解剖！埼玉古墳群」、テーマ展「埼玉の中・近世ー発掘された道沿いの風景ー」	(令和元年度)
最新出土品展、企画展「盾持人埴輪の世界」	(令和 2 年度)
最新出土品展、企画展「運ぶー埼玉古墳群とモノの動き」、テーマ展「埼玉の遺跡 鴻巣市新屋敷遺跡ー埴輪工人の奥津城ー」	(令和 3 年度)
埼玉の考古おひろめ展、企画展「家形埴輪」、テーマ展「埼玉の遺跡 東松山市反町遺跡 ー時代を彩る職人のムラー」	(令和 4 年度)
企画展「二子山古墳と祈りの器」	(令和 5 年度)

## 16 利用案内

### (1) 博物館関係

#### ア 開館時間

(ア) 下記以外は、午前 9 時～午後 4 時 30 分。(入館受付は、午後 4 時まで。)

(イ) 7 月 1 日～8 月 31 日は、午前 9 時～午後 5 時。(入館受付は、午後 4 時 30 分まで。)

イ 休館日

- (ア) 月曜日(その日が国民の祝日、振替休日、県民の日又は4月29日～5月5日である場合を除く。)  
 (イ) 年末年始(12月29日～1月3日)

ウ 観覧料等

(ア) 観覧料(本館及び将軍山古墳展示館共通)

区 分	個 人	団体(20人以上)	年間観覧券
一 般	200円	1人につき120円	1,200円
学生・生徒(高校生)	100円	1人につき60円	600円

- ※ 義務教育終了前の方は、無料
- ※ 身体障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者(障害者1人につき1人)は、無料
- ※ 教育課程に基づく学習活動として観覧(幼稚園、保育所を含む。)する学生・生徒・引率者及び下見見学者は、無料
- ※ 調査を目的として観覧する方及び研修会の引率者は、無料
- ※ 埼玉県(教育委員会を含む。)が主催する職員対象の研修会等の参加者は、無料
- ※ 年間観覧券で、県立嵐山史跡の博物館にも入館できる

(イ) 特別利用料金

熟 覧	1点1日につき	1,250円	模写・模造	1点1日につき	2,500円
撮 影	1点カットにつき	4,180円	原版使用	1点につき	3,130円

- ※ びょうぶは、1隻を1点、一揃いをなす巻子は、1巻を1点、掛軸は、一幅を1点とし、その他の資料は、各個を1点とする。
- ※ 国・県・市町村等が主催する文化、教育に係わる事業等の場合は、免除又は減額となる。

(2) 公園施設関係(5ページ図参照)

埼玉県都市公園条例等により、次のとおり定められている。

ア 利用手続

「物品の販売、興業その他の営業行為」、「業として写真又は映画等を撮影」等の行為については、埼玉県都市公園条例第9条第1項により、知事の許可が必要である。

なお、公園内は、文化庁から史跡に指定されており、穴を掘る行為や表土を傷付ける行為はできない。

イ 利用料金(入場料又はこれに類するものを徴収しない場合)

物品の販売その他の営業行為をする場合	1㎡	半日	7円	1日	14円
興行を行う場合	1㎡	半日	8円	1日	17円
業として写真を撮影する場合	1件	半日	360円	1日	740円
業として映画等の撮影を行う場合	1件	半日	14,800円	1日	29,800円

- ※ 埼玉県都市公園に関する規則別表第1の抜粋

(3) 交通案内

- ア JR 高崎線「吹上」駅下車、朝日バス「佐間經由行田折返し場・総合教育センター・工業団地」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分
- イ 秩父鉄道「行田市」駅下車、「新町 1 丁目」から朝日バス「佐間經由吹上駅」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分
- ウ JR 高崎線「行田」駅下車、市内循環バス(1 日 9 便「観光拠点循環コース」)「JR 行田駅前」から「埼玉古墳公園前」下車、徒歩 2 分
- エ JR 高崎線「北鴻巣」駅下車、さきたま緑道 4.8 km



埼玉県のマスコットコバトン

館報 第19号  
令和6年7月2日刊行

埼玉県立さきたま史跡の博物館  
〒361-0025 埼玉県行田市埼玉4834  
TEL 048-559-1111 (総務)  
048-559-1181 (学芸)  
FAX 048-559-1112  
<https://www.sakitama-muse.spec.ed.jp>  
E-mail:k591111@pref.saitama.lg.jp